

第 608 回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

テレビ番組

「落谷虹児 渡仏 90 年 パリ再び」



平成 27 年 6 月 30 日

BSn新潟放送

第608回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成27年6月30日(火)午前11:00~

2. 開催場所 新潟放送本社 6F会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	正道かほる	委員	古賀豊
委員	小島良子	委員	佐藤元
委員	佐藤明		

○委員側欠席者

委員	高井盛雄	委員	佐々木広介
委員	細田康		

○放送事業者側出席者

社長	竹石松次	営業局長	斎藤和利
編成局長	島田好久	報道制作局長	太田志信
ラジオ本部長	高坂元己		

〈説明員〉 報道制作局情報センター
テレビ制作担当 山口牧恵

○放送事業者側欠席者

専務 梅津雅之

○事務局

事務局長	増山由美子(広報部長)
事務局員	丹羽崇(社長室長)

4. 議題 1. 報告事項 7月の新番組・単発番組について

2. 審議番組

テレビ番組 「落谷虹児 渡仏90年 パリ再び」

放送日時 6月20日(土)10:30~11:00

5. 議事の概要

各局長からの7月度番組報告に続いて、6月の審議番組「落谷虹児 渡仏90年 パリ再び」について、審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- 番組を見るまで落谷さんことは、花嫁という絵を描いた方という情報しかなかったが、どんな方が分かった気がする。30分番組であまりにも時間が短く、もっと知りたかった。一番知りたかったのは、パリでの凱旋展覧会を開くまで構想から8年かかった理由。落谷虹児のことを良く知らなかつたので、番組を見て新発田市にある落谷記念館に行きたくなつたし、番組を見た方は、きっと足を運んでくれると思う。
- 番組は興味深く、時間が短く感じたが、もっと作品が紹介できれば良かった。パリの街並みは、落谷虹児が滞在した頃のものがほとんどそのまま残っていたのが印象深かった。とてもまとまっていて、良い番組だった。
- 新発田市が誇る画家を知る入門編として、ちょうど良い番組。番組に出演した三男の落谷龍夫さんが何をされている人なのか、興味があった。今、日本はアニメーションを含めたサブカルチャーで売り出している面もあるが、その元祖、大本が落谷虹児という取り上げ方でも面白かったかも。
- 番組を見て私もパリに行きたくなつた。「混血児とその父母」という絵、1つのテーマに焦点を当てて落谷虹児の思いをしっかりと伝えている。30分が非常に短いと思った。よく構成されていた。私は高校が新発田だったので、落谷虹児のことはなんとなくわかっているが、もう少し落谷の人間性を紹介しても良かったのではないか。
- 何度か落谷記念館に行ったことがあるが、今回は興味深く見せてもらった。落谷がパリから帰国後、戦時中にどのような作品を描いていたのか知りたかった。パリでの凱旋展覧会に展示されていた絵を普段はどこで見ることができるか、番組内で案内があると良かった。
- こうした番組を通して落谷を含めた新潟の偉人を発信してほしい。地方創生の文化面という切り口としても、非常に良い番組だった。
- 落谷虹児といえば新潟県人でなくても花嫁の絵、花嫁人形の絵がぱッと浮かんでくる。特に花嫁は記念切手にもなつていて、非常に印象に残っている。あつという間に番組を見終わつた。時間が短くせわしなく感じた。一方、番組に出てくる人のインタビューは、何気なくしゃべっている言葉がどれも含蓄があつて的を射て、「大人の番組」と感じた。

～テレビ制作担当・山口ディレクターから～

貴重なご意見を頂きありがとうございます。

- 30分でどう番組を作るか大変悩んだ。落谷の一生を描くのではなく、パリの動きに集中させた。凱旋展覧会が開催されたのは、父・虹児の後悔の念を知った三男・龍夫さんがパリで展覧会を開けば全てのことが解決すると周囲に言われたことがきっかけ。構想から8年経つての開催は、資金集めや経済状況が大変だったこともある。落谷虹児の人となりが描き切れていないというご指摘は反省点。龍夫さんの言葉を借

り過ぎてしまったので、虹児の晩年の手記などからもう少し描けばよかったです。ただ、落谷虹児の波乱万丈な人間ドラマは 30 分では描ききれなかったと思う。パリ取材を終えて帰国してから「混血児とその父母」に番組の焦点を当てようと考えた。パリ滞在中は「花嫁」が番組のテーマかとも思ったが、展覧会の来場者も「混血児とその父母」に惹かれる人が多かったので。番組の冒頭で落谷記念館の話をしたが、どんな作品を見ることができるかは詳しく紹介しなかった。反省している。龍夫さんは元テレビ局のカメラマン。色々と番組についてご指導も頂いた。

【文責・番組審議会事務局】
